

令和7年（2025）1月 入域観光客数概況（確定版）

78万3,400人
対前年（R6）同月比 +15万4,200人、+24.5%
～1月としては過去最高～

【更新履歴】①令和7年2月25日速報版公表
②令和7年4月25日確定版公表

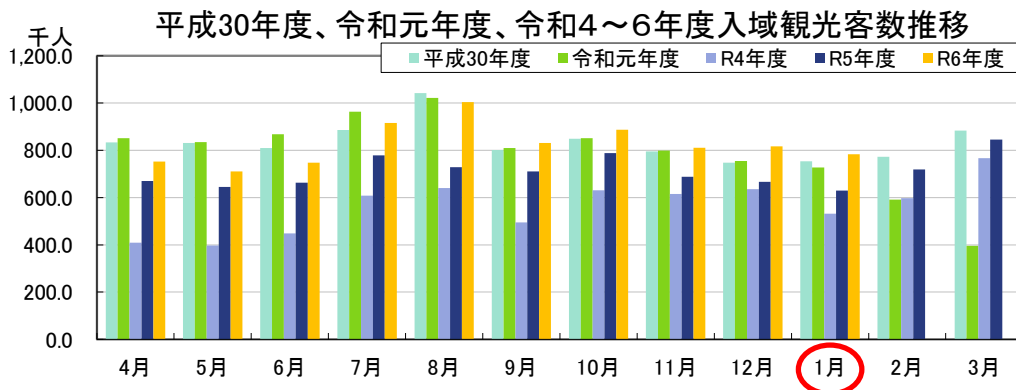
※ 外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、4月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を2枚目に追加しています。

入域状況

入域観光客数（R5年度と※H30年度との比較）

区分	R6年度	R5年度	増減数	増減率	構成比	※H30年度
国内客	566,800人	508,800人	+58,000人	+11.4%	72.4%	523,700人
空路	565,100人	504,800人	+60,300人	+11.9%	72.1%	521,600人
海路	1,700人	4,000人	△2,300人	△57.5%	0.2%	2,100人
外国客	216,600人	120,400人	+96,200人	+79.9%	27.6%	229,800人
空路	148,400人	92,900人	+55,500人	+59.7%	18.9%	150,300人
海路	68,200人	27,500人	+40,700人	+148.0%	8.7%	79,500人
合計	783,400人	629,200人	+154,200人	+24.5%	100.0%	753,500人

※外国客には、海路における乗務員等20,900人を含む。



国内客 入域状況

1月は、年始における航空会社の増便・臨時便・季節運航があったほか、地方発着チャーター便の運航、県内発着フライ&クルーズの寄港が複数回あったことから前年同月を上回った。特に、東京・関西・福岡・名古屋方面からの観光客数は単月として過去最多を記録し、国内客総数においても過去最多となった。

国内客 地域別入域状況

区分	R6年度	R5年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	274,400人	240,800人	+33,600人	+14.0%	48.4%
関西方面	116,500人	107,100人	+9,400人	+8.8%	20.6%
福岡方面	73,000人	67,500人	+5,500人	+8.1%	12.9%
名古屋	48,000人	44,300人	+3,700人	+8.4%	8.5%
その他	54,900人	49,100人	+5,800人	+11.8%	9.7%
合計	566,800人	508,800人	+58,000人	+11.4%	100.0%

外国客 入域状況

1月は、航空路線において那覇－上海路線（1月1日～）の増便があったことのほか、年始、春節期間中の旅行需要の高まりから、前年同月を上回った。

2月以降については、引き続き各方面からの航空路線需要が期待できるほか、台湾・中国本土・香港発着クルーズ船の寄港が複数回予定されていること等から好調に推移すると見込まれる。

トピック ▶【中国本土】春秋航空は4月1日から10月25日まで週4便から7便（毎日1便）に増便予定

▶【香港】4月4日（金）に清明節の祝日が、4月18日（金）～21日（月）にかけてイースターの4連休があるため、訪沖客の増加が見込まれる。

外国客 国籍別入域状況

区分	R 6 年度	R 5 年度	増減数	増減率	構成比
台湾	63,100 人	52,000 人	+ 11,100 人	+21.3%	29.1%
韓国	60,500 人	28,700 人	+ 31,800 人	+110.8%	27.9%
中国本土	41,500 人	10,500 人	+ 31,000 人	+295.2%	19.2%
香港	15,500 人	11,400 人	+ 4,100 人	+36.0%	7.2%
アメリカ	3,600 人	1,600 人	+ 2,000 人	+125.0%	1.7%
タイ	1,500 人	500 人	+ 1,000 人	+200.0%	0.7%
シンガポール	1,900 人	1,400 人	+ 500 人	+35.7%	0.9%
その他	29,000 人	14,300 人	+ 14,700 人	+102.8%	13.4%
合計	216,600 人	120,400 人	+ 96,200 人	+79.9%	100.0%

※「その他」には、海路における乗務員等20,900人を含む。

外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R 6 年度	R 5 年度	増減率	構成比	R 6 年度	R 5 年度	増減率	構成比
台湾	59,000 人	43,600 人	+35.3%	39.8%	4,100 人	8,400 人	△51.2%	6.0%
韓国	51,300 人	27,500 人	+86.5%	34.6%	9,200 人	1,200 人	+666.7%	13.5%
中国本土	16,100 人	5,700 人	+182.5%	10.8%	25,400 人	4,800 人	+429.2%	37.2%
香港	12,500 人	10,000 人	+25.0%	8.4%	3,000 人	1,400 人	+114.3%	4.4%
アメリカ	1,700 人	1,200 人	+41.7%	1.1%	1,900 人	400 人	375.0%	2.8%
タイ	1,400 人	500 人	+180.0%	0.9%	100 人	0 人	皆増	0.1%
シンガポール	1,800 人	1,400 人	+28.6%	1.2%	100 人	0 人	皆増	0.1%
その他	4,600 人	3,000 人	+53.3%	3.1%	24,400 人	11,300 人	+115.9%	35.8%
合計	148,400 人	92,900 人	+59.7%	100.0%	68,200 人	27,500 人	+148.0%	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等20,900人を含む。

